

## 第49回ギャラクシー賞 大賞、優秀賞が決定

### 5月理事会報告

5月24日、5月理事会を開催した。

#### 1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 飯田副委員長  
8月号、THE PERSONは民放連新会長の井上弘氏。旬の顔は染谷将太さん。特集は、ギャラクシー賞詳報。

9月号は旬の顔がマツコ・デラックスさんの予定。特集は「BS放送局は生き残れるか」。

橋本専務理事より委員会活動報告を一時中断し「その他①」を先に審議したいとの提案があり了承された。

2. 「その他①」第8期、第9期理事候補者の指名・承認について  
(橋本専務理事)

4月26日、理事会終了後当会の細則に基づき「理事会準備会」を

説明があった。  
以上で、4時間の理事会は散会となった。

◇次回以降の理事会日程

6月 6月16日(土) ※総会も同日開催  
7月 7月23日(月)

【出席】音好宏、橋本隆、上滝徹也、小田桐誠、藤田真文、丹羽美之、桜井聖子、五井千鶴子、滝野俊一、飯田みか、石井彰、入江たのし、川喜田尚、隈部紀生、河野尚行、坂本衛、嶋田親一、稗田政憲、中島好登

### 会議記録

〔5月〕

15日 ギャラクシー賞改革小委員会  
出版編集委員会  
17日 (選奨) ラジオ定例部会  
理事会  
22日 (選奨) テレビ月評会  
24日  
29日

### ラジオ部門 ＜ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会 Vol.15＞開催!

日時：7月7日(土)午後1時～  
会場：ニッポン放送イマジンスタジオ(有楽町・ニッポン放送B2F)  
参加費：1500円(学生1000円)

第49回ギャラクシー賞ラジオ部門に入賞した8作品の中から1作品を試聴していただき、制作者の方と語り合います。  
また、DJパーソナリティ賞を受賞された吉田尚記さんにも参加して頂きお話を伺います。

開催した。理事選挙の結果の上位15位までの理事候補者に理事就任の可否を確認した結果、15位以上17名(15位同票3名)の内2名が辞退したので結果として15名が理事候補者となっていた。当日出席者は12名。

その理事会準備会で理事長候補者を選び、理事長候補者の議事進行の下、理事長候補者からの推薦理事7名、理事候補者からの推薦理事3名が決定した。

更に推薦理事計10名の可否を確認したところ、1名が辞退された。結果9名の理事候補者が決定している。その承認を求めるのが準備会からの提案であった。

しかし、5月14日付で小田桐常務理事より「理事会準備会は細則6条に違反している。改めての開

催を求める」との疑義が事務局に提出された。同様な意見が石井理事からも事務局に寄せられた。したがって、この理事会でその件に関して審議したい。

(小田桐常務理事)

1. 各委員会委員長はともかく、副委員長まで理事長が指名し承認を求めるのは細則6条に違反する。

2. 選挙で選ばれた15人の理事は推薦する権利を有するのではないか。

3. 理事会準備会に限らず、議事録を常に作成するべきではないか。

現状を踏まえたうえで適切な対応を審議したい。

(橋本) 石井理事からの発言を求めます。

(石井) 言った、言わないの議論にはしたくない。あるいは記憶違いもあるかも知れないのことも先に申しあげる。私の認識は、まず音理事長(候補)から新しい体制の人事案の説明があった。続いて理事候補者についての追加の提案を求める発言があった。3人ほどの

名前が出てきた。そしてその3人の方を推薦することには私は承認することを了承した。私の出席していた理事会では、副委員長まで理事にするといったことは決められていないと思う。人事案の説明と理事候補者の推薦とは別のものと理解している。

(以上が発言の概略であります―文責橋本)

以後、準備会出席者(入江理事、坂本理事、嶋田理事、中島理事、藤田常務理事、上滝常務理事、桜井理事、丹羽理事)準備会当日欠席、橋本専務理事/発言順)及び隈部理事が順次、それぞれの意見を述べた。全員発言の後、更に複数の理事のそれまでの発言に対しての意見表明が続いた。又、川喜田理事、稗田理事からの意見表明もあった。(ここの発言は略します)最後に音理事長からの発言があった。(同様に略)

その結果、音理事長(候補)は「推薦にあたり来年の50周年を前にして、今までの活動の継続性を重視し基本的に現執行部体制を維持することを前提に、任期満了の各委員会委員長、副委員長がいるのでその後任の選出を考慮し、選挙理事15名を含め、新体制確立のため副委員長を含む推薦理事案」を提案した。その結

果7名を推薦理事として指名した。

その後、出席の選挙理事から3名の推薦があった。結果10名の推薦理事候補が決まり、全員に確認し承認を得た。

最後は、事務局長が10名の方に推薦を受けるかどうかの連絡をするがよろしいかとの確認があり、それも承認された経緯が確認された。

記憶・認識にあやふやな点のある理事もいたが、専務理事は音声録音を聴取・確認しての説明をした。

また、こういった指名手続きは4年前や2年前にも行われていて、その都度準備理事会で承認されていることも確認された。

したがって、1. について「細則6条には違反していない」、2. について「理事は推薦の権利を履行している」ことが確認され、今回の準備会の決定作業になら問題はないとの結論を得た。

なお、副委員長の指名に関しては、理事長(候補)が委員長(候補)に副委員長として誰を想定しているか等の意見交換をして両者一致の会員を指名していることも確認した。

小田桐常務理事と石井理事も了承した。又、議事録作成に関しては、橋本専務理事から「同様な見解を持っているが、

ビ・ラジオだけでなく街頭募金やイベント等、報道「活動」という意味で評価した。優秀賞は「市営散弾銃：」と「記者たちの眼差し」。

(詳細は「GALAC」7月号に掲載)

委員会報告終了後石井理事から、今回のテレビ選奨委員会の選考に関して発言許可を求められたので認めた。

(石井理事) 個々の番組の入賞や落選に関しては申しあげることはない。

以下3点に関し、問題ありと考える。  
1. 大賞・優秀賞が全てNHKとキー局であること。選奨以上の14本の中に地方局制作が1本(名古屋局は準キー局扱い)であること。

2. 大賞・優秀賞4本中3本が月間賞から選ばれていること。  
3. 公正な手続きと情報開示が行われたか疑問。再審査が必要ではないか。

(個々条文の指摘点に関しては詳しい具体的な説明が加えられていた。前項と同様に概略のみで略)。

この提議に関して、テレビ選奨委員会上滝委員長、川喜田副委員長、藤田委員からそれぞれ事実経過(特に3. に関して)の説明とそれに基づく見解が表明された。(選考過程の一部の公表となるので略します)

実務作業として作成するのはかなりの困難がある。理想ということは理解しながらも当座は音声の記録を残すことを事務局に通知しておきます」との発言があった。

### 3. 委員会活動報告(続き)

◇選奨事業委員会

◇テレビ部門) 上滝委員長

大賞は「カーネーション」。優秀賞は「鈴木先生」「しあわせのカタチ」「世界の果てまでイッテQ」。特別賞は「ネットワークでつくる放射能汚染地図」、震災関連での特別賞という性格と、従来の特別賞の性格を合わせた少し重い特別賞。

◇ラジオ部門) 桜井委員長

大賞は「鉄になる日」。優秀賞は「久米宏ラジオなんですけど」「元禄・堂島米市場蟹舞」「消えた月光仮面」。5月22日に合評会を開催。NHK第1の朝ワイド「すっぴん！」を聞いた。入賞作品を聴く会を7月中で調整中。

◇CM部門) 五井委員長

大賞はサントリー「歌のリレー」。震災後いち早い対応に絶大な評価があった。優秀賞はトヨタ「シリーズFTDA」、ライオン「歯ブラシ家族シリーズ」。

◇報道活動部門) 小田桐委員

大賞は「絆いわて」キャンペーン。テレ

奨事業委員会が発足した後に選奨事業委員長、各部門委員長、副委員長にお集まりいただき、改めて今日の議論内容を報告したうえで協力をお願いするつもりだ」との発言があった。

◇企画事業委員会 藤田委員長

特になし。

◇マイベストTVプロジェクト 滝野プロジェクトリーダー

年間グランプリが「妖怪人間ベム」に決まり、月曜日に発表した。今回、Yahoo!・GyaO)提携してグランプリ投票を行った。GyaO)投票者が2481名、放懇Web会員投票者は1560名だった。「妖怪人間ベム」は937票だった。双方のランキングは殆ど同じであった。

4. 第49回ギャラクシー賞贈賞式の件(入江理事)

各委員長に講評は3分までとお願い。テレビ個人賞の小泉今日子さんが出席する。

来年は50周年だが、会場を押さええないといけない。改めて議題にしたい。

5. 「その他②」ギャラクシー賞改革小委員会答申案について

(小田桐小委員会委員長)「資料配布」

昨年の総会で承認された小委員会を設立し、7回の会議を開催した。そこでま